

平成 30 年度 全国開拓青年・女性研修会 in 北海道 開催結果（概要）

平成 30 年 10 月 16 日から 18 日にかけて、開拓中央三団体（全日本開拓者連盟、全国開拓農業協同組合連合会、全国開拓振興協会）の共催により、「平成 30 年度 全国開拓青年・女性研修会 in 北海道」を開催しました。

今年は、全国開拓振興協会主催による講演会事業と合同開催で、初日の講演研修に同研修会参加者 80 名が参加しました。（講演会の詳細は、講演会事業の開催結果を参照下さい。）

翌日の 17 日は、札幌市内の「北海道開拓の村」を視察研修しました。

明治から昭和初期にかけて建築された道内各地の歴史的建造物を 54 箇所の敷地の 4 エリアに移築復元・再現した野外博物館。

文化の流れを示す建造物を保存し、後世に永く伝えることを目的に、1983（昭和 58）年、開村しました。



1869（明治 2）年、北方開拓のため、省と同格の中央官庁である「開拓使」が設置されました。

市民ボランティアの語り部の案内で、まず、開拓使関係庁舎や商店が並ぶ市街地群エリアを視察。開拓期らしいものや、今でも新鮮な建物を熱心に見て回りました。

農村エリアは、開拓期の作物であるバレイシ

ョや八列トウキビを実際に栽培し、当時の畑作風景を再現し、開拓者が暮らした農家住宅は、どれも造りが異なり、移住前の故郷の建築様式となっております。農作業が厳しく、開拓者たちは家で故郷を懐かしんだことが推し測れます。

参加者は、開拓当時の生活について理解を深めました。

そのほか、ビール博物館などを見学して、研修を終えました。



本研修会には全国から総勢 80 名の開拓関係者が集まり、開拓者間の交流も図られ、大盛況のうちに終了することができました。